

社会

平成30年度調査問題

2(2) 出題のねらい▶ 調べたことを基にして、消防署の取組の目的を捉えることができる。

資料【火災がないときの取組】の中で火災の発生を防ぐための取組として最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から1つ選び、記号で答えましょう。

【火災がないときの取組】

- ア 地域の学校に出かけて、避難訓練の指導をする。
- イ 消防署内の施設で、救助や消火などの訓練をする。
- ウ 消防自動車や、消防自動車に積みこまれている道具の点検をする。
- エ 地域の燃えやすい物を扱う場所が安全かどうかを検査する。

正答:エ 正答率:36.3%

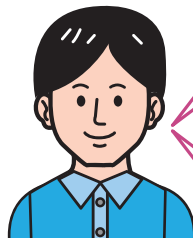
【この問題を間違えた理由についての分析】

この問題では、「ア」から「エ」までの取組を、その目的に注目して火災防止と火災発生時の対応とに正しく分類することができず、「火災発生時に対応するための事前の取組」を、「火災の発生を防ぐための取組」として捉えているものと考えられます。

家庭でも挑戦!

身近な出来事や、ニュースで知った世の中のことについて、その目的と手段、原因と結果などについて話し合ってみましょう。

例えば、右のような問いかけ方で、たずねてみましょう。



なぜ、～しているのだと思う?

〇〇が実現したら、みんなの生活はどう変わるかな?

家庭での取組例



ねえ、なんでいつもAスーパーマーケットだけじゃなくて、Bスーパーマーケットへも買い物に行くの? Aスーパーマーケットだけで、今日買うもの、全部そろうんじゃない?

確かにそうだね。でもAとBで、いつも何を買っているか思い出してみ。

Aではいつも野菜を買っているね。Bではお肉を買うことが多いかもしれない。

そうだね。Aは野菜の種類が多くて、Bはお肉の種類がAよりも多いんだ。

そうか、同じスーパーマーケットでもお店によって、違いがあるってことか。

なぜ、Bスーパーマーケットにも行くのかが分かったかな?

学校でも似たようなことを勉強したよ。買うものによって品ぞろえのいいお店を使い分けて、よりいい品物を買おうとしているからってことだね。

しっかり勉強しているね。というわけで、荷物持ちのお手伝い、よろしくね!

